

令和6年度

伊勢市わがまち写真コンクール

入賞作品集

令和6年度「伊勢市わがまち写真コンクール」入賞作品

【最優秀賞】

氏名	作品名	場所	学校名	学年
高崎 一恵	みなとの朝	湊橋		

【優秀賞】

氏名	作品名	場所	学校名	学年
白上 浩司	五十鈴川と青空	内宮		
門谷 若次	ドームに泳ぐ鯉のぼり	いせトピア		
出口 琴音	いつもの景色がきれいと思えた時。	二見浦駅	皇學館中学校	2

【入 選】

氏名	作品名	場所	学校名	学年
中野 邦男	赤に染まる御手洗場	神宮御手洗場		
中内 慎也	その想いの先	伊勢神宮外宮		
福田 智子	夜桜	栗野町		
大田 明弘	外宮参道の夕暮れ	外宮参道		
中北 幸宏	春爛漫の宇治	宇治浦田		
板谷 一行	御塩調進	二見町汐合		
山口 一明	雨上がりの神宮	内宮		
石井 佑吾	伊勢の歴史	おかげ横丁	皇學館中学校	2
中村 芽生	2つの岩	夫婦岩	皇學館中学校	2
小津 慶桜	駅の景色	宇治山田駅	皇學館中学校	3

〈総 評〉

今年も本コンクールの選考委員をさせていただきました。本コンクールは今回で9回目となり、これまでで最多の作品をご応募いただきました。誠にありがとうございました。

本コンクールは、その募集要領にテーマが設定されていて、「わたしが思う伊勢市の素敵な景観」とあります。例として「伊勢市のまちなみ景観、自然風景、歴史的建築物、来訪者におすすめしたい場所、その他残したいと思う伊勢市の風景」とされています。こういった素敵と感じる場所の写真を撮ってもらうことで、景観に親しみを持ち、大切さに気づき、新たに発見してもらうことを目的としています。

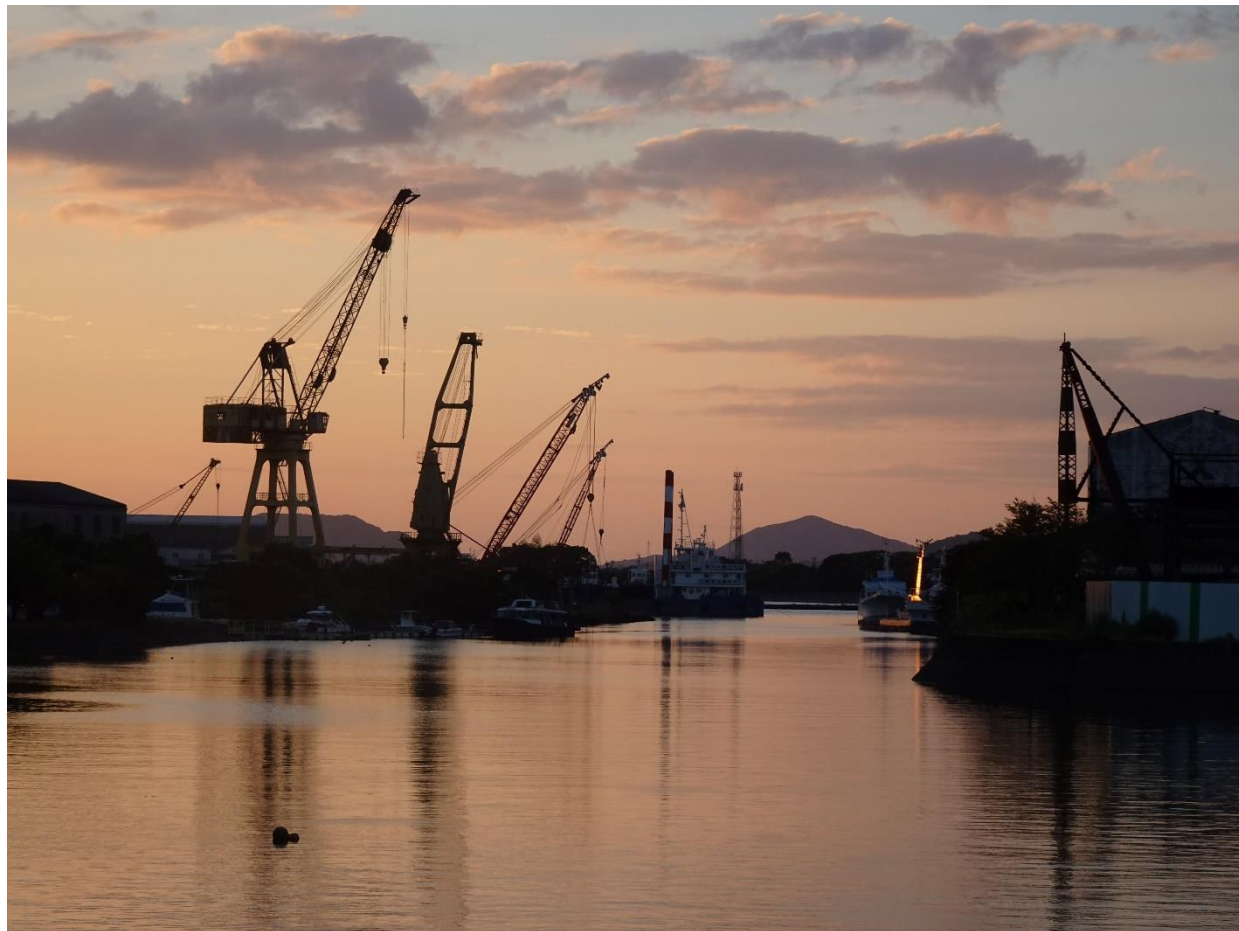
130点余の応募作品を拝見し、例年にも増して伊勢市内の「きれいな場所」であったり、「歴史を感じさせる場所」であったりを感じることができ、また、応募された皆さんが「伊勢市わがまち」をどのように捉え、写真に表現したのかをじっくりと考え、選考いたしました。

残念ながら選ばれなかった作品も多くありますが、いずれも伊勢市内の大切な景観を写されており、その景観を独自の目線で発見したことが伝わってくるものばかりでした。

これからも伊勢市の「素敵な景観」を意識し、写真に残していただければと思います。

JRP 日本リアリズム写真集団会員 向原知宏

【最優秀賞】



みなとの朝

(撮影場所)

湊橋

高崎 一恵

【コメント】

伊勢市の歴史・文化と自然の魅力にあふれたまち、大湊。湊橋から、朝の風景を撮影していたら、地元の方から「みなとの人やろ？」と尋ねられました。実は違うのですが、人の温かさにもあふれたまちですね。

【選評】 何基ものクレーンがシルエットとなった、大湊の朝の風景を写し撮っています。右岸の船のあたりの光もアクセントとして効いていると思います。作者のコメントに「伊勢市の歴史・文化と自然の魅力にあふれたまち、大湊。」とありますが、大湊の造船の歴史は伊勢市だけにとどまらず、全国に影響を与えていたと思われ、その様子を後世に残すことは意味のあることだと思います。また、タイトルをひらがなの「みなと」にしたことに、作者の想いを感しました。

【優秀賞】



五十鈴川と青空

(撮影場所)

内宮

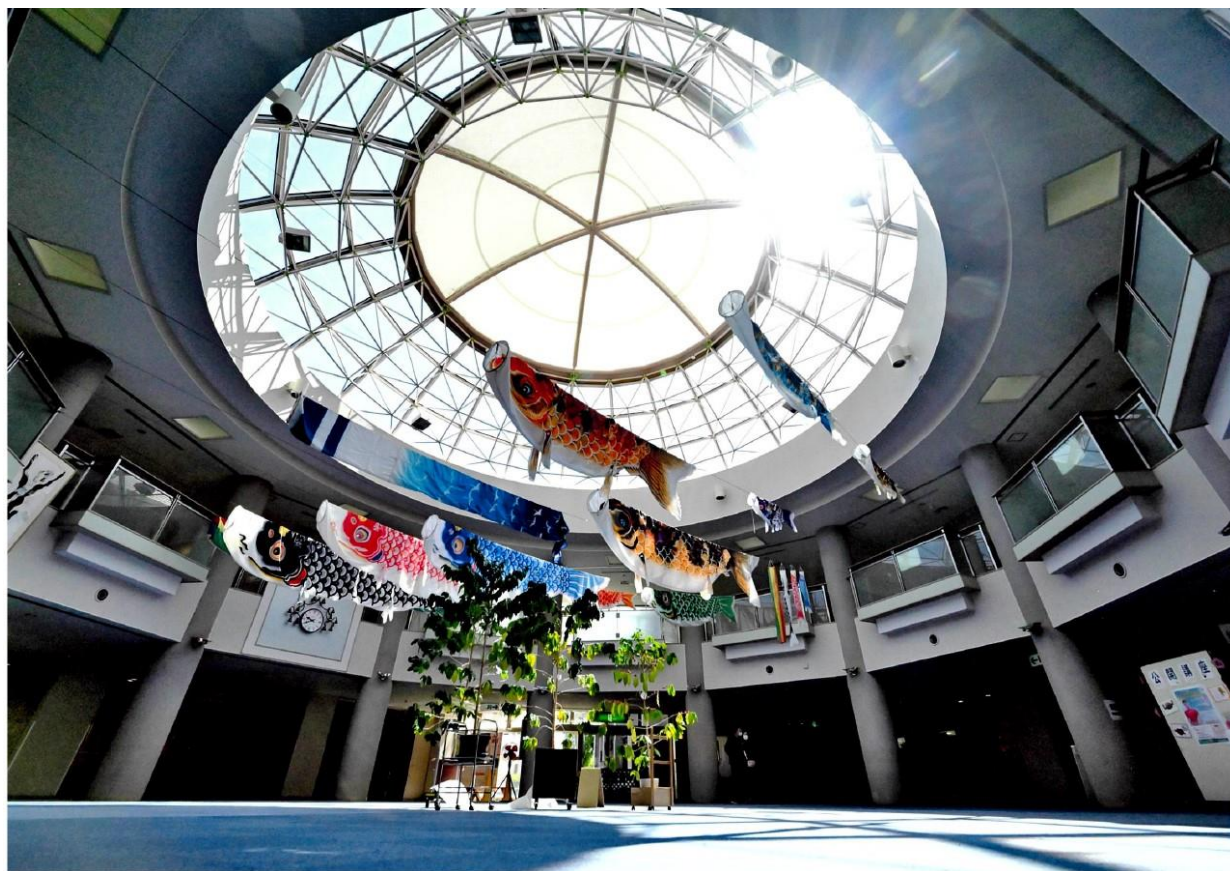
白上 浩司

【コメント】

息子が伊勢に遊びに来た時に、内宮さんに行って余りにも綺麗だった為

【選評】宇治橋から上流を見た、木除杭（きよけぐい）のある五十鈴川と青空が印象的な一枚です。青空と、雲と木除杭の白色。画面内での配色の具合が見事です。私も内宮参拝のときに、いつも見る風景ですが、好天のこの時間帯に写すことで、この風景の美しさが映えていると思います。作者のコメントから、たまたま通りかかったときに綺麗と感じて撮った一枚のようですが、その一枚を撮ることができる意識に敬意を表します。

【優秀賞】



ドームに泳ぐ鯉のぼり

(撮影場所)

いせトピア

門谷 若次

【コメント】

屋内の鯉のぼり、風もないのに泳いでる

【選評】この作品は、その時季になると飾られる鯉のぼりを、光豊かに、ダイナミックに表現しています。鯉のぼりの配置バランスや撮影時刻（光の具合）が絶妙です。写ってはいませんが、画面右下あたりに、ワクワクした表情で鯉のぼりを見上げる子供の姿が思い浮かびました。子供たちはこんな感じで見上げているのではないかと思います。写真表現の巧みさももちろんですが、市内のいろいろなイベントをご存じなことにも感服しました。

【優秀賞】



いつもの景色がきれいと思えた時。

(撮影場所)

二見浦駅

出口 琴音

【コメント】

後ろを振り向いた景色がきれいだったから。

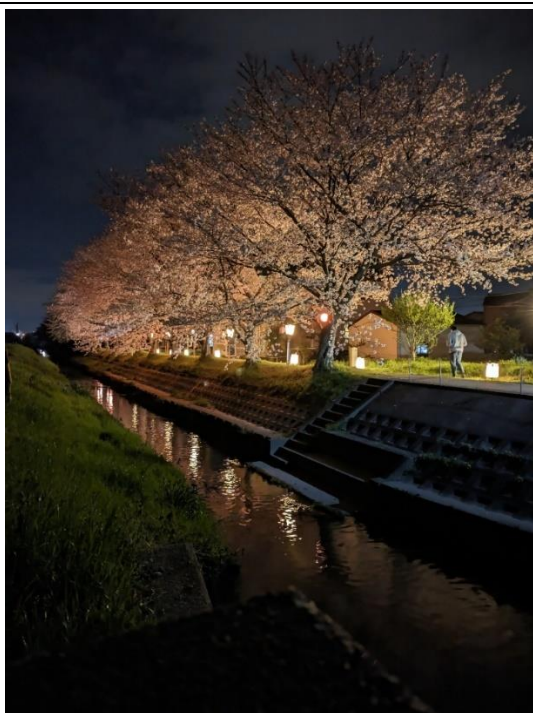
【選評】タイトルにある、「いつもの景色」が「きれいと思えた」だけで、本コンクールの目的である「景観に親しみを持ち、大切さに気づき、新たに発見してもらう」ことは達成できたと思うのですが、それを的確に表現した一枚だと思います。少しだけ写っている青空や画面手前のホームに差している光、2本の列車と小さく写っている車掌さん（かな?）。いつもの風景は当たり前でなく、また、いつまでもあるものでもない。そんなことを考えていただけたらと思います。

【入選】

	赤に染まる御手洗場
	(撮影場所) 神宮御手洗場
	中野 邦男
【コメント】 真っ赤神宮の御手洗場に今年も手を清め	

	その想いの先
	(撮影場所) 伊勢神宮外宮
	中内 慎也
【コメント】 伊勢の年末と言えば“どんど火” その年を振り返り思い出を心に刻み来年に想いを馳せる。 火の粉が舞う姿を見て、人の想いが空に舞っていく様に見えとても美しく感じたので撮影してみました。	

【入選】



夜桜

(撮影場所)
栗野町

福田 智子

【コメント】

毎度癒されます。

今年は娘達が同時に卒業、入学だった為 桜に格別な思いがありました。



外宮参道の夕暮れ

(撮影場所)
外宮参道

大田 明弘

【コメント】

夜の帷が降りた瞬間の外宮参道の街灯や車のヘッドライトが神々しくて、つい見惚れてしまいました。

【入選】

	春爛漫の宇治
	(撮影場所) 宇治浦田
	中北 幸宏
【コメント】 両側の白壁、奥に五十鈴川、そこに広がる満開の桜、春を楽しむ姿、春爛漫のひと時をカメラに収めました。	

	御塩調進
	(撮影場所) 二見町汐合
	板谷 一行
【コメント】 古式の姿で、炎天下の作業に感動して	

【入選】

	雨上がりの神宮
	(撮影場所) 内宮
	山口 一明
【コメント】 雨上がりの早朝、光芒のカーテンが素晴らしい	

	伊勢の歴史
	(撮影場所) おかげ横丁
	石井 佑吾
【コメント】 正直どこを撮るか迷いましたが、たくさんの写真の中でこれが一番しっくりきてとてもよい風景だと思いました。	

【入選】



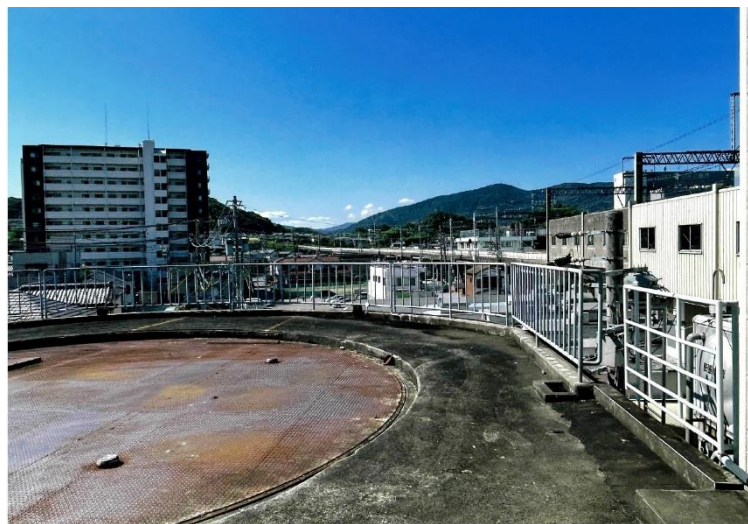
2つの岩

(撮影場所)
夫婦岩

中村 芽生

【コメント】

よく拝みに訪れることが多かったから。



駅の景色

(撮影場所)
宇治山田駅

小津 慶桜

【コメント】

とてもきれいなのを前から知っていたけれど、あらためてしっかりみたらとてもきれいでした。